

## 2025 年度

### ニチキッズ京都さかの保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月25日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念である「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」子どもたちが主体性をもって自分らしく成長できるように、職員間で理念に則った保育について話し合った。意識を統一することで、子どもの目線に立ち、気持ちを受容・共感し、思いに寄り添うあたたかい関わりを実践した。
子どもの発達援助	ひとり一人の子どもの様子を丁寧に観察しながら関わりを持つことで、それぞれの発達に合わせた保育のねらいや環境の構成に努めました。様々な行事を通じて個々の成長を促すような関わりを意識して取り組むことができた。
保護者に対する支援	園の様子や個々の子どもの様子・成長を保護者に見ていただく機会として保育参観を実施することで、保護者との連携の強化に努めた。また、保護者の方が気軽に相談できるような温かい雰囲気作りにも留意して取り組んだ。
保育を支える組織的基盤	様々な研修を受講し、常に向上心をもって保育に活かし、新たな知識を取り入れながら保育の質の向上に努めた。

総評
自己評価を行うことで、職員自身の保育の見直しだけでなく、園全体の課題として保育内容について検討する機会が持てた。また、主体性を尊重する保育に関しては、常に子どもの最善の利益を念頭に置いた保育をおこない、徹底をするために園内研修に力を入れ、全職員が共通認識で同じ対応が出来るように取り組んだ。今後も引き続き保育士・栄養士がそれぞれに専門性を活かし連携を取りながら、子どもの最善の利益を追求し、より良い保育園となるよう保護者の皆様と一緒に施設の運営を行っていきたい。そのために職員一人ひとりが自発的に学び、新しい視点を取り入れながら保育の質のさらなる向上を目指していきたい。子どもも保護者も安心して通える保育園づくりを目指したい。